

—はい、ボス、明日ヒネブラ行きの直行便です。マラガ発4時丁度です。
—これは物語・歴史だ、ソフィアは明日この飛行機に乗るだろう、そこで彼女の旅行鞆そう、旅行鞆の奥には沢山の衣装、宝石、そしてお金、莫大なお金が入っている、スペインから非合法で持ち出（取り出す、引き出す）すことを望んだ人達の金だ。
—そうですか、ボス、それを知って今、何をすべきでしょう、本当に？
—そう、私はシャワーを浴びよう、身支度を整えて、君と一緒に食事に行くために。
—それは私も同じです。しかし他にしなくてはならないことは、ロメラレスに電話をしませんとね。
—そうだね、然し、本当のところ多分、今回は一人で、今回は、
—ボス、それはダメですよ。ロメラレスはこの事件を引き受けてくれますよ。そうでは無いですか？電話をして彼に話し、来てもらいましょう。
—スシ、私は思うのだが、ロメラレスは、この件で君と上手く行かないよ、（君に悪い印象を与える）
—何故ですか、私と上手くいくのでは？実は、私は貴方のように彼に大きな妄想は持っていませんから、その上、彼は彼女を逮捕できますから、貴方にはできません。
—よろしい。君の通りにしよう。今電話を掛けよう。
ロメラレスとの会話は短かった。
—ロメラレス、私の話全てを望むかい？そこで、明日の朝、マラベジャに来てくれたまえ、ロス モンテロスホテル、部屋は257号室だ、そこで話をしよう。
それではよろしく、秘密にしてくれたまえ。君が警察だと言うことを誰にも言わないで。

★ ★ ★ ★

マラガの空港は人で一杯だった。観光シーズンの旅行者は途切れる事無く、スペインの太陽と海を求めて行ったり来たりしている。